

はじめに～認知症の方の介護をするご家族～

介護をしているご家族は、認知症のご本人の事を一番身近で支える存在であると同時に、身近だからこそ感じるつらさも抱えています。

私たち認知症地域支援推進員は、ご本人を中心とした支援を行いながら、家族介護者の方の気持ちを受け止め、支援を行っています。

介護者の方のための交流や相談の場として、市内の地域包括支援センターが開催する「家族介護教室」「家族介護者交流会」や、全国組織の「公益社団法人 認知症の人と家族の会」があります。

～詳しく知りたいという方は、以下の『推進員』までお問合せ下さい♪～

「Orange ゆうき」は、認知症について皆様に知っていただくことを目的とした「結城市独自の広報紙」です！



教えてほしいこと、困ったこと、何かあれば、いつでもご連絡ください！

★東部包括：45-5501 ★西部包括：45-8222 ★南部包括：54-6477



注目の イベント

【毎年9月は「認知症の月」！】

2022年も9月は「茨城県認知症を知る月間」であります。
ゆうき図書館(結城市民情報センター内)に認知症に関する書籍などを紹介するコーナーを設置しますので、ぜひお読みください！
結城市では、オレンジカフェや認知症サポーター養成講座など、定期的に行っております！ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください(^^♪
※コロナウイルス感染対策のため、予定が変更となる場合がございます。

絵本も♪

認知症の人と家族の会茨城県支部会員/結城市認知症施策推進協議会委員 牧野優子さんからのメッセージ♡

ご家族や知人の方が「認知症かもしれない」と感じられたことはありませんか？

外出先で場所がわからなくなる、計算が苦手になるといった僅かな違和感が義母の認知症の始まりでした。

症状は徐々に進行し、同居を開始してからも、洋服の上の下着を着る、トイレ使用後に水を流さない、あちこちに下着を隠す等、とまどう行動は増えて行きました。

「認知症について初めから説明をしなくても、すぐに理解してもらえ人と話してみたい。」と思ったことが、『家族のつどい』に出かけた私の動機です。つどいでは、皆さんの介護体験から、私がとまどった義母の行動や介護サービスの拒否は、多くの認知症患者に見られる行動だとわかり、対応のヒントをいただきました。

介護者や家族の人生も進めつつ、認知症の症状のある方と一緒に穏やかに毎日を送るために、周囲の人と介護チームを作りましょう。

では、どうしたら？「認知症の人と家族の会」にぜひお声かけください。同じ介護者家族の立場からお話を伺うのが茨城県支部電話相談です。本部HPやFacebookでは、最新の情報を発信しています。



♡牧野優子さん♡



♡牧野さんと義母様♡

電話相談専用ダイヤル：029-828-8099



本部 HP



茨城県支部 HP

編集後記

認知症の人や家族の方が、住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らし続ける事のできる地域づくりをお手伝いします。(麻)

認知症の人たちを含めた結城市のすべての人が、笑顔で暮らせるように、大きな愛情で小さな対応を大切にしていきます。(大)



オレンジ
【Orangeゆうき】

発行責任者/結城市地域ケア推進係 編集/結城市認知症地域支援推進員

〒307-8501 茨城県結城市中央町二丁目3番地結城市 地域ケア推進係

TEL 0296-34-0324 FAX 0296-20-8767 メールアドレス kaigohoken@city.yuki.lg.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

